

第19回 全員協議会記録

1 日 時 令和元年10月31日(木) 午前9時30分 開会

2 場 所 議会委員会室

3 出席議員 18名

議 長	関 根 正 明
副 議 長	堀 川 義 徳
議 員	渡 部 道 宏
”	宮 崎 淳 一
”	八 木 清 美
”	丸 山 政 男
”	村 越 洋 一
”	霜 鳥 榮 之
”	佐 藤 栄 一

議 員	宮 澤 一 照
”	天 野 京 子
”	阿 部 幸 夫
”	横 尾 祐 子
”	高 田 保 則
”	小 嶋 正 彰
”	太 田 紀 己 代
”	植 木 茂
”	岩 崎 芳 昭

4 欠席議員 0名

5 欠 員 0名

6 説明員 18名

市 長	入 村 明
副 市 長	西 澤 澄 男
総 務 課 長	平 出 武
企 画 政 策 課 長	葭 原 利 昌
財 務 課 長	平 井 智 子
建 設 課 長	杉 本 和 弘
農 林 課 長	吉 越 哲 也
観 光 商 工 課 長	城 戸 陽 二
環 境 生 活 課 長	岩 澤 正 明

市民税務課長	小 嶋 和 善
健康保険課長	今 井 一 彦
福祉介護課長	岡 田 雅 美
ガス上下水道局長	米 持 和 人
こども教育課長	松 橋 守
生涯学習課長	山 本 毅
妙高高原支所次長	岩 銅 健 治
妙高支所長	高 橋 正 一
会計課長	金 子 卓 也

7 事務局員 3名

局 長	築 田 和 志
庶 務 係 長	堀 川 誠

主 査	道 下 啓 子
-----	---------

8 件 名

1 事件

1) 被害状況の報告について

○議長（関根正明） ただいまより全員協議会を開催します。

1) 被害状況の報告について

○議長（関根正明） 1) 被害状況の報告について報告願います。

総務課長。

○総務課長（平出 武） よろしくお願ひします。おはようございます。それでは、台風第19号による被害状況の概要についてお手元の資料に基づきまして説明をさせていただきます。事前に配付させていただきました資料につきましては10月25日現在で取りまとめたものでありますのでよろしくお願ひいたします。

初めに気象警報、雨量、河川水位の状況であります。気象警報等につきましては10月12日の14時52分に大雨と洪水警報が妙高市に発表となり同日19時50分には本県で初となる大雨特別警報警戒レベル5が妙高市、上越市、糸魚川市の3市に発表されました。降雨の状況ですが、気象台が市内に設置した関山、樽本の観測所では24時間雨量は観測史上最大を記録しております。なお、表につきましては国と県が設置した雨量観測を行っている地点での記録で最大は両善寺の時間雨量28ミリ、24時間累計雨量299ミリが最大でありました。河川の水位につきましては、二子島と猿橋、2カ所の観測所で氾濫注意水位を超えております。

次に2ページの被害状況ですが、死者やけがなどをした方はございませんでした。建物被害につきましては、床上1件、床下12件、屋根の破損と外壁の破損がそれぞれ1件の計15件であります。公共施設につきましては被害はございませんでした。それから河川の被害につきましては市管理の2つの河川で計2件、県管理の11の河川で計97件の被害となっております。

次に3ページの道路以外につきましては市道で15の路線で22件、県が管理する6路線で56件の被害となっております。

次に4ページ防雪施設、いわゆる流雪溝等の被害ですが取水ゲートの決壊など9件の被害がございました。続いて農林関係の被害です。農道、用水路、農地、頭首工などで計154件の被害がありました。被害の主なものの状況等については、資料の最終ページのほうにですね、被害状況写真等がございますので参考にさせていただきたいと思ひます。5ページ下段です。林道関係ですけれども17の路線で93件の被害状況となっております。

次に6ページ中段になります。観光施設関係であります。3つの登山道、遊歩道で被害があり、2つの温泉で源泉に関係する被害がございました。ガス上下水道施設につきましては、3つの施設で被害がございましたが断水などの供給が止まるような状況には至りませんでした。その他のライフラインですが、電気では矢代地区と平丸地区で12日から翌13日の夜間に置いて、計約440戸の停電となっております。なお、電話につきましては被害はありませんでした。次に7ページの災害対策本部体制と避難情報等の発令の状況です。10月11日の金曜日ですけれども、16時30分に災害警戒本部会議を開催しました大型で非常に強い台風だということでありましたので、市民の皆さんへの事前の注意喚起、土砂災害警戒区域にある区長さんとの避難所などに関する打ち合わせなどの事前準備の状況を行い、その確認とともに12日の警戒態勢の指示を職員に行いました。12日、21時に第2回の警戒本部会議が開催されました。後に災害対策本部に切り替わるわけですけれども、各地の状況妙高市以外ですね。すでに台風が迫っている地域の状況から相当の被害が予想されることから自主避難所の開設についてこの時点で決定しております。

自主避難所の開設につきましては、飛びますが9ページの表の下に記載してございますが、上段の表の下ですけれども12時に新井ふれあい、新井南小学校、妙高高原支所、妙高支所に開設し、15時に土砂災害の危険性の高い上小沢、大濁、平丸、樽本地区に事前に区長さんとの打ち合わせのとおり開設をしております。戻りまして、第2回

の災害対策本部を17時30分に開催し、全課とのこれまでの情報共有、今後の警戒に万全を期すとともに危険性の高い関川や矢代川の流域の指定避難所の開設の指示がありました。その後18時30分に既に開設している自主避難所と合わせて指定避難所の開設目途がついたことから、避難準備高齢者避難開始を発令しております。19時パトロールにより片貝川、元正木医院前、矢代川飛田新田橋での逸水や水位上昇が確認されたことから、中央町、飛田新田、さらに10分後に小出雲3丁目を追加し避難勧告を行っております。

次に19時30分、避難判断水位には達していませんが、矢代川、関川の水位の上昇が続いていることから上町など記載の地区に避難勧告を出したところでありました。その後19時50分に气象台から大雨特別警報が出され、レベル5の表です。それを受けて既に避難勧告が出されていた箇所について避難指示を発表し、引き続き20時12分新潟県土砂災害警戒システムの状態を確認し、土路、樽本地区などに土砂災害の避難指示を出したところでありました。

日が変わりまして13日、次のページですけれども大雨特別警報が3時20分に解除、その後ですけれども河川の状態をパトロールなど確認し夜明けを待ちまして、矢代川流域を6時30分に解除、関川流域につきましては、多少の水位の上昇と言いますか、一部見られたところもありましたので、遅れまして関川流域は9時に解除しております。土砂災害の警戒情報の解除につきましては、16時45分に新潟県の警戒情報が解除となりましたので、土砂災害関係の避難指示を出していた土路、樽本地区の避難指示を解除したところでありました。

次の第3回目の災害対策本部につきましては、被害状況がおおよそまとまったため緊急度の高いところについて市長、副市長と関係課長による今後の復旧に向けた取り組みの確認を行い、その後市長による関係機関への働きかけが行われております。第4回は本災害に関する各課との情報共有、課題、反省点のとりまとめの指示等を行う災害対策本部ですけれども、一時孤立的な状況にありました樽本地区への交通が確保されたということで第4回の災害対策本部をもって対策本部を解散しております。その後引き続き検証、市長からはですね、冬場に向けて復旧を急ぐこと、反省も多いと振り返り、検証し気づきをもって不測の事態に備えるようになどの指示がございました。次に各避難所の状況です。8ページから9ページのとおりですけれども、避難者の最大人数は13日の0時で1006人、避難対象者に対する割合は6.9%でした。続きまして9ページの公共交通の運休状況ですけれども、北陸新幹線につきましては記載のとおり10月24日まで運休となっております。北信濃、妙高はねうまラインにつきましても一時運休がございました。市営バスにつきましては13日に一部運休がありました。災害ごみ等の対応ですけれども、被災された住宅について対応しているところでありまして、現在も対応中のところはございます。

次に10ページです。一番上の一時孤立的な状況になりました、樽本地区住民の皆さんへの対応です。交通が遮断された段階で健康状況の確認を妙高支所のほうで電話確認等毎日行っております。その後、市保健師による健康状態の確認、被害状況と仮復旧についての説明等を地元住民に行っております。10月24日で市道の復旧状況について説明し、事後の対応もしております。

次、応援派遣や支援物資の受け入れです。応援派遣につきましては10月12日の夜間からリエゾンとしてですね、国土交通省2名、陸上自衛隊、新潟県妙高警察署等職員が市役所の本庁のほうに派遣され情報共有をしております。そのほかに国土交通省のテックホース等、国と県からの応援派遣をいただいております。支援物資につきましては、北名古屋市、一般財団法人新潟県建設技術センター等からいただいております。義捐金は現在受付中でございます。現段階での道路規制でございますけれども、市道につきましては、34路線、県道につきましては記載の22路線につきまして現在も通行止めの状況であります。

資料の説明は以上でございますけれども、今回の台風で見えてきた課題ですとか、改善しなければならないこと、多くあります。避難所の避難率が7%であるというような状況、あるいは避難所での情報伝達、あるいはラジオ等一部持ち込みましたけれども情報提供が十分なかったこと。避難所職員の運営につきまして、市の職員だけでは限

界があるというようなこと。さまざまなものがございます。そのほかにも庁内体制としまして職員がずっとこう、ローテーションなく継続して勤務したことなど様々な課題が職員と言いますか、災害対策を担う市役所のなかでもございました。そのほか各避難状況の把握、そういったことにも今後の課題を残しているところが多くあるというふうに考えております。また、今回、皆さんにお配りしました、ハザードマップ等につきましても色々指定河川の関係であるような白地地区も多くございますけども今後の見直しをしなければいけないということで現在その辺の検証と検討を進めているところであります。

以上、現在もまだ各課からの反省見直し等の事項について洗い出しを行っているところでありますけども、今後そういったことを見直し検証した中で今後あってはならないんですけども、起きた災害のとき今回よりもスムーズなそして住民のみなさんのより安全、安心につながる避難行動等に繋がるように努めてまいりたいというふうに考えております。以上で報告を終わらせていただきます。

○議長（関根正明） ただいまの件について何かございませんか。

堀川議員。

○堀川議員（堀川義徳） 今回の説明の中でやはり今回の直接の予算に関しての、補正予算に関してはこの後やりますので、まず今回の久しぶりと言いますか、7.11 以来の大きなと言いますか、避難所の数もそうですが先ほど検証というような話が出て来て恐らく 7.11 のときも検証されてそうならないようにということで体制を組まれてたと思えますし、数年前の栗原の堤防の決壊のときにもですね、やはり同じように検証してそうならないようにということでどんでんですね、いわゆる進化と言いますか改善をされて来たと思うんですが、今回も今相当な改善と言いますか、反省点があるというようなことで、私はそれをとりまとめてですね、それを次万が一のときに生かさなければいけないと思うんですが、具体的にそのこういうところをもっとこうしたほうがいいみたいな、各所管から集めると話ありましたが、具体的にいつくらいまでに取りまとめてそのことに対してはこう対処していくというようなことが取りまとまるんでしょうか。

○議長（関根正明） 平出総務課長。

○総務課長（平出 武） 取りまとめにつきましては今月、きょうが 31 日ですけども今月を目標にしてとりまとめております。現在集まっているものから順次どうするんだというお話をさせていただいているところであります。

○議長（関根正明） 堀川義徳議員。

○堀川議員（堀川義徳） 恐らくまた 12 月の定例会なんかでその辺でまた一般質問とかそういった形で、恐らく今回の問題に対してどうするんだという質問等が出ると思うんですけど、それをしっかり取りまとめて我々に提示していただければそれはそういった形で対応していくんだということで、その辺のやりとりはそこで終わると思うんです。ぜひですね、スピード感をもって万全を期した体制をとれるような報告と言いますか、我々に提示していただきたいと思えます。以上です。

○議長（関根正明） 村越洋一議員。

○村越議員（村越洋一） 時間もないので簡潔にと思えますが、避難情報の出し方についてお伺いしたいと思います。

この 7 ページにですね、避難情報の発令情報と書いてあります。これ、媒体は何で出されたのかお伺いします。

○議長（関根正明） 平出総務課長。

○総務課長（平出 武） 避難情報につきましては基本的には安全安心メール、エリアメール、あとホームページと防災無線であります。

○議長（関根正明） 村越洋一議員。

○村越議員（村越洋一） 私がですね、何名かの市民の方から伺うところでは、防災無線が機能してなかったんじゃないかな

いかというふうな発言があるんですが、それについてはどのように確認されてますか。

○議長（関根正明） 平出総務課長。

○総務課長（平出 武） 防災無線というのは戸別受信機のことでしょうか。災害の今回の警報等を出したわけですが、今回につきましてはこれも問題点の一つにも上がっているんですが、例えば一番最初の避難勧告を出したレベル4の洪水ですけども中央町、飛田新田についてこのエリアのところのみ出しているところですが、要はほかのところに出していたずらに不安をあおるといのは、よくないのではないかという判断のもとで、今度戸別受信機はエリアごとに出せるようになりましたので、そのような対応をしているところです。

○議長（関根正明） 村越洋一議員。

○村越議員（村越洋一） すみません。私個別受信機についてだったんですが、戸別受信機についてもそのように対応できていないというふうな話もあったんですがそれについてはどうでしょう。

○議長（関根正明） 平出総務課長。

○総務課長（平出 武） すみません。今の段階でそういったことを把握しておりませんので、詳細をお聞かせいただいてどのような状況かというのは検証させていただきたいと思います。

○議長（関根正明） 村越洋一議員。

○村越議員（村越洋一） もう1つですね、安心安全メールについてなんですけれども、7ページの下になりますけど避難指示がですね、20時12分に出されています。これ、土路、樽本、斑尾、関温泉、燕温泉、平丸、それから上小沢、大濁というふうになっていますが、これ安心安全メールでは、確認したところ平丸、上小沢、大濁には指示出てないんですね。

それについてはどういうふうに確認されてますか。

○議長（関根正明） 平出総務課長。

○総務課長（平出 武） 当方の記録では指示を出したというふうな認識ですが、その辺確認させていただきたいと思います。

○議長（関根正明） 村越洋一議員。

○村越議員（村越洋一） ぜひ確認してみたいと思います。そういう意味で今回いろんな課題が出てきたというふうなことを先ほど申されましたけども、やはりですね、これからはホームページ、それからSNSいろんなメディアで対応が必要となってくるかと思っています。そういう意味でですね、きめ細かく適正な管理をしていただきたいなというふうに思います。特にですね、避難所行かれた方はスマホを持って避難されてます。そこから得る情報というのは非常に重要だと思いますので、検証してよろしくお願ひしたいと思います。

○議長（関根正明） 村越洋一議員。

○村越議員（村越洋一） すみません。もう1点、資料について今回このように出していただいています。写真が付けられているところはちょっと進んでるかなと思ったんですが、なかなかやはり具体性が乏しいところがあると私は思うんですね。特にですね、農林関係の施設、数字入ってますけど場所がどこだか、やはりわかりませんよね。自分の地域場所であればここかなという形で確認はできると思うんですが、やはりこれほかの地域になったりですね、あんまりこの関係がないところだとわかりづらいところがあります。前回のですね、台風21号のときも同じような経験をしたんですが、結局これは一つずつ所管に行って確認しなくちゃいけないようなことになっているんですね。そういう意味で、ぜひですね、この辺きめ細かく情報を入れていただくということでできれば住所がわかるといいとおもうんですね。住所がわかればその場所がどこかというのが確認できますし、そういった提供をお願ひしたいなと思います。

また、今回ですねこういった形の文章で提供できないということであればデジタルデータで出す方法もあります。それを含めてですね、この写真も当然オープンデータという形でですね、用意すれば写真と住所とそれから時間、そういったものをですね、紐づけられた形で情報提供できるはずなんです。その辺ちょっと研究してですね、今後に生かしていただきたいというふうに思います。それについていかがですか。

○議長（関根正明） 平出総務課長。

○総務課長（平出 武） 被害状況の箇所数ということでありまして、特に農林課のその場所等については住所地番等の特定が非常に困難な場所もございます。といったことで、御指摘のありました地図上のもので、表示等に変えさせていただくとか、25日現在でとりまとめておりますが、完全に全容をつかめているかというところはまだつかめていないところもあります。特に林道関係の奥のほうにつきましては、そこへ辿り着くことすらですね、なかなか難しいところ、そういったところはドローン等を飛ばしてですね被害状況を把握したりとかしている状況です。おいおいほぼ25日のところで状況把握してございますけれども、災害後の25日までの13日、14日、15日という直近のところではなかなかすぐに出せるということは困難かなと思っています。ただ、御指摘の点についてできるだけ早く皆さんに被害状況等をお知らせして一緒にですね、復旧に向けてですね、考えを一つに、ベクトルを一つにするということでは必要だと思いますので、検証してまいりたいと思います。

○議長（関根正明） 小嶋正彰議員。

○小嶋議員（小嶋正彰） 6ページの1番下段のほう、ライフラインの関係です。今回避難所を開設したところで、私も行ってたんですが、そこで突然停電になりました。非常に照明設備等ですね、懐中電灯、ヘッドライトしかないというような状況でございました。やはり、千葉県の場合でもわかるかと思うんですけども複合災害ですね。水害プラス停電の災害とかというようなことが近年非常に大きくなっております。今の情報機器やなんかにしてもですね、電気が来てないというふうにもならないものもあるわけですが、幸い今回は2時間で回復しましたけれども、やはりそういう関係のですね、避難所の設備、備品の見直しが必要ではないかなというふうに思っております。その辺については、どのようにお考えでしょうか。

○議長（関根正明） 平出総務課長。

○総務課長（平出 武） 御指摘のとおりですね、避難所の運営だけではなくて、今の発電機ですか、電源の設備の関係、それと情報を伝えるというところで一部ラジオ等持ち込んだところあるんですけども、それが一気にこれだけの数、避難所開設したのが今回初めてだったんですけども、そういった中では映像ですね、テレビ等の配置とかそういったようなことも含めてですね、避難所の備品については再度見直しを行いたいと考えています。

○議長（関根正明） 小嶋正彰議員。

○小嶋議員（小嶋正彰） ぜひよろしく申し上げます。それから同時にですね、福祉避難所があります。特別養護老人ホームとか、指定されてるんですが、そちらのほうも行ってみましたところ電気が止まってですね、そうすると食事もつくれないとか、それから医療行為、酸素の供給だとかですね、そういったものも非常電源、2時間は大丈夫だけでも、それから先は心配だという話もございました。トータルでですね、そういった面も調査して対応をお願いしたいと思います。以上です。

○議長（関根正明） 霜鳥榮之議員。

○霜鳥議員（霜鳥榮之） 時間がないのでね、端的にまた後程改めてやりますけど、先ほど課長報告にありましたこのマップですね。10月に配ったばっかなんです。私も9月議会でもって防災体制緊張感もってむかわんきやだめだよという質疑もやってきた中なんですけども、このハザードマップですね、ここには問い合わせ先は市役所になってんだけど、つくったのはゼンリンなんです。どういう形でもってこのデータをいれてつくられたのか

など、先ほど見直しを図らんきやいけないといけないと言ったけどあまりにもね、10月に皆さんに配って10月に見直しをせんきやいけてこういう状況でもあつたりしますんで、これはね、今後今回の災害をベースに見直しせんきやいけないだろうと思うんですけれども、それについての留意点というかね、その辺の考え方ちょっとお聞かせいただけますか。

○議長（関根正明） 平出総務課長。

○総務課長（平出 武） 今回配付させていただきましたハザードマップ、ゼンリンと書いてあるのはゼンリンの版權を使っているというふうなことでですねお考えください。

今回のハザードマップにつきましては、新潟県がですね、関川、矢代川、片貝川についてのデータを周りの地形ですとかデータを駆使してつくったものでそのデータをゼンリンの地図の上に載せまして編集してお配りさせていただいたものであります。したがいまして御指摘の中で私ども緊張感をもってと言うお話ではありますけども、矢代川、関川、渋江川そのほか片貝川ですとか支流とか、中小の河川についてはですね、この中に想定というか考慮されていないようなデータになっております。それにつきまして、かなりの見直すこととなりますとかなりの金額がかかる中で、県が代表的な河川を見ただ中でそういうデータを市町村に提供してハザードマップということで今回お配りさせていただいたんですけれども、今後中小想定されてないものについてどう取り扱うか、市でやるのか色々なことを検証してまいりたいとおもいます。

○議長（関根正明） 堀川義徳議員。

○堀川議員（堀川義徳） すみません。さっきちょっと聞くの忘れちゃったんですけど、今回これだけの広域な面積と言いますか、箇所も多いんですが、恐らく農林課と建設課の皆さん大変だと思うんですが、当然今災害復旧という形で業者使って色々対応していると思うんですが、例えば災害復旧優先すると当然今持つてる工事やなんかも後回しにするような対応もしなければいけないと思うんですよね。そういった対応は協議の中で進められるんでしょうか。建設課長のほうがいいですかね。

○議長（関根正明） 平井財務課長。

○財務課長（平井智子） その件につきましては、まず災害復旧のほうを優先していただきたいということで既に発注している既存の工事、測量業務等につきまして市のほうと業者のほうと協議をして一時中止もしくは延期等を措置できるように今文書のほう庁内各課、それから業者及びその団体のほうにお知らせするという予定で準備を進めております。

○議長（関根正明） 丸山政男議員。

○丸山議員（丸山政男） 私、兼保の問題なんですけど、きょう朝行くと幸い川さらいも始めたみたいなんですけど、ここで二次災害の備えということで一つは東北電力の水路の問題です。上流に直径2メートルくらいですか、大谷発電所へ行く水路があります。点検したところ川の水は鉄管すれすれにとおてるんですよね。これは電力会社等の問題なんですけど、その対応を一つ。それからもう一つがもと今使われていないジャンプ台があるんですがその道に川のところに60センチから70センチくらいのヒューム管を入れた橋があるんですが、今回幸いに上流で氾濫したもんでそこは詰まっていなかったんですが、これも何か水路出ますと60、70センチのヒューム管ですから完全につかえる可能性があるんですね。だからその辺の対応、その2点をお聞きしたいと思います。

○議長（関根正明） 平出総務課長。

○総務課長（平出 武） 東北電力の関係等ですね、それぞれ2点目もそうですけどもそれぞれの災害についてですね、所管する団体、機関等とですね、今後よく確認してですね、話を進めるようにしたいと考えております。

〔何事か呼ぶ者あり〕

○総務課長（平出 武） ジャンプ台につきましてもその辺を確認して対応を検討してまいりたいと思います。

○議長（関根正明） よろしいでしょうか。

○議長（関根正明） 以上で全員協議会を閉会いたします。

閉会 午前10時00分